



特徴

- ・ジッター減衰器内蔵ユニバーサル周波数変換器(UFT™)
- ・実績のあるシンクロナサスイサネットラインカード向け同期
- ・FECレート変換を含むSONET/SDHクロックをサポート
- ・最大3つのフラクショナル出力分周器(FOD)での4つの独立したプログラマブル出力
- ・12 kHz ~ 20 MHzの範囲で、標準RMS位相ジッター350 fs(スプリアス含む)
- ・LVPECL、LVDS、LVHSTL、LVCMOS、HCSLの入力クロックに対応
- ・入力周波数: 8 kHz ~ 875 MHz
- ・出力周波数: 8 kHz ~ 1.0 GHz
- ・小型40ピンVFQFPNパッケージ
- ・Timing Commanderにより使用が容易
- ・動作温度: -40 ~ 85°C

対象アプリケーション

- ・マルチボードシステムのシンクロナサスイサネットラインカードに最適
- ・OTNやSONET/SDH機器のラインカード
- ・OTNデマッピング(ギャップクロックおよびDCOモード)
- ・ギガビットおよびテラビットのIPスイッチ/ルーター
- ・無線局のベースバンド処理
- ・動画配信
- ・データ通信

複雑なクロックツリーをシンプルに

ユニバーサル周波数変換器(UFT)タイミングデバイス8T49N241/242は、あらゆる入力周波数を使用して、あらゆる出力周波数を選択できる最大4つの独立したプログラマブルクロック出力を提供します。基板面積を抑える小型の40ピンVFQFPNパッケージで提供することこのデバイスは、10G PHYや100Gまでのインタフェースに直接使用できる確実で堅牢なジッター性能を実現します。冗長性管理、ジッター減衰、あらゆるループ帯域幅設定における一貫した位相ノイズ性能を提供します。

IDTの技術によって非常に柔軟な周波数の設計が可能です。例えば、あらゆる周波数を関連性の無い出力周波数に変換することで、エンジニアが複雑なクロックツリーを簡素化することに役立ちます。これらの柔軟性と優れたプログラマビリティにより、開発工数を削減しながら多くの異なるクロックツリーで使用できる、電力効率の良いUFTデバイスとなっています。IDTのTiming Commanderソフトウェアツールは、デバイスの迅速かつ簡単な設定を可能にします。

型番	機能
8T49N241	2入力、4出力のシングルPLL UFT 最大4つの周波数ドメイン(1整数型および3分数型出力分周器)
8T49N242	2入力、4出力のシングルPLL UFT 最大4つの周波数ドメイン(4整数型出力分周器)

IDTのUFT製品の詳細については
visit: idt.com/go/UFT をご参照ください

Integrated Device Technology, IDT and the IDT logo are registered trademarks of IDT. Other trademarks and service marks used herein, including protected names, logos and designs, are the property of IDT or their respective third party owners. © Copyright 2015. All rights reserved. PB_8T49N241-2_REVA_0815_J